

# 衆議院安全保障委員会ニュース

【第 198 回国会】平成 31 年 4 月 2 日（火）、第 6 回の委員会が開かれました。

## 1 国の安全保障に関する件（辺野古問題）

・河野外務大臣、岩屋防衛大臣、関経済産業副大臣、田中国土交通大臣政務官、更田原子力規制委員会委員長及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）宮崎政久君（自民）、本多平直君（立憲）、川内博史君（立憲）、原口一博君（国民）、赤嶺政賢君（共産）、串田誠一君（維新）、重徳和彦君（社保）、照屋寛徳君（社民）、長島昭久君（未来）

（質疑者及び主な質疑事項）

### 宮崎政久君（自民）

- （1） 新設された陸上自衛隊宮古島駐屯地に中距離多目的誘導弾及び迫撃砲を保管する弾薬庫が住民への説明なしに整備されるとの報道（本年 4 月 1 日付東京新聞）についての事実関係及び今後の対応方針
- （2） 米軍普天間飛行場移設問題
  - ア 本年 3 月 15 日に国会に提出された名護市辺野古沖の「地盤に係る設計・施工の検討結果」報告書
    - a 大浦湾側外周護岸部の土層の分布に係る調査において実施した方法
    - b 海面下 90 メートルまで粘性土である B27 地点でボーリング調査を行った事実の有無
    - c 全ての地点でボーリング調査を行う必要性の有無及びその必要性がない場合における他の地盤強度の評価方法
    - d サンド・コンパクション・パイル工法及びサンドドレーン工法の信頼性
    - e 同報告書 16 ページのグラフが示す固い地盤のある海面下 90 メートルに到達しない 70 メートルまでの杭打ちで地盤改良が実現できるとする根拠
  - イ 普天間飛行場返還の実現に向けた岩屋防衛大臣の決意

### 本多平直君（立憲）

- （1） 新設された陸上自衛隊宮古島駐屯地
  - ア 千代田カントリークラブ側サイトへの中距離多目的誘導弾及び迫撃砲の弾薬庫配備計画の中止の有無
  - イ 中距離多目的誘導弾及び迫撃砲の弾薬保管予定地が昨日の報道を受けて変更になったとの認識の当否
- （2） 辺野古新基地建設予定海域における活断層の存在
  - ア 防衛省が活断層の存在を否定する根拠としている産業技術総合研究所の「活断層データベース」
    - a 同データベースに掲載されている活断層はこれまでに知られていてかつ長さ 10 キロメートル以上のものに限られており全ての活断層を網羅していないとの認識の当否
    - b 同データベースに載っていないことを理由に防衛省がこれまで活断層の存在を否定していることに対する関経済産業副大臣の見解
  - イ 国土地理院のデータベースも全ての活断層を網羅していないとの認識に対する田中国土交通大臣政務官の見解
  - ウ ア及びイの 2 つの文献のみを根拠に防衛省が活断層の存在を否定するのは適切ではないとの考えに対する更田原子力規制委員会委員長の見解
  - エ 同文献等に関する経済産業省、国土交通省及び原子力規制委員会の答弁を踏まえ活断層は存在しないとする主張を撤回し存在は不明であるとするべきとの考えに対する岩屋防衛大臣の見解
  - オ 平成 12 年 10 月の第 3 回代替施設協議会に当時の防衛庁が提出した推定地層断面図の資料

- a 同資料の記載内容
  - b 同資料を基に複数の学者が活断層が存在するおそれがあることを指摘しているにもかかわらず活断層は存在しないとする答弁は撤回すべきとの考えに対する岩屋防衛大臣の見解
  - c 同資料の「一部に断層による落ち込みが見られる」との記述と防衛省が活断層は存在しないと主張することとの整合性
- (3) 米海兵隊の運用
- ア 沖縄に駐留する米海兵隊が年間 100 日以上海外に展開している事実を岩屋防衛大臣が把握しているか否か
  - イ 上記の事実により我が国の防衛のための抑止力に空白が生じている可能性

### 川内博史君（立憲）

#### 米軍普天間飛行場移設問題

- ア 沖縄県民投票の結果を外務大臣から米側に説明したか否か
- イ 軟弱地盤の改良工事に関する説明
  - a 地盤改良工事の必要性並びにそれに伴う追加費用の額及び工期の延長期間等に関する防衛省から外務省に対する説明の有無
  - b a に関する事項について外務省から米國務省への説明予定の有無
- ウ 鳩山内閣総理大臣（当時）が県外移設を断念する根拠となったとされる説明文書と自身が外務省から入手した文書のゴム印及び筆跡が同一であることから河野外務大臣が同総理大臣への説明文書について「外務省が作成した文書であろう」と認めるべきとの考えに対する同外務大臣の見解
- エ 平成 25 年の公有水面埋立申請における設計の概要等
  - a 構造物の支持層としている琉球石灰岩層でN値（地盤の強度を表す値）が 50 とされている地点の地層の厚さ
  - b ボーリング地点におけるN値のばらつきや音波探査における不確実さから琉球石灰岩を支持層とするには問題があるとの指摘があることを防衛省が知っていたか否か
  - c 防衛省が実施したボーリング調査のうち琉球石灰岩層におけるN値のばらつき程度
  - d 公有水面埋立法に基づく変更申請を行うのであれば工事を一旦中断すべきとの考えに対する岩屋防衛大臣の見解

### 原口一博君（国民）

- (1) 平成 22 年当時外務省が鳩山内閣総理大臣に説明した内容（米側から米海兵隊の航空部隊とこれを支援する陸上部隊が 65 海里以上離れると運用に支障を来すなどの米軍側の考え）を裏付ける文書を公表する必要性
- (2) 一般国際法と日米地位協定の関係
  - ア 外務省ウェブサイト『日米地位協定 Q & A』において在日米軍に国内法が適用されない根拠が一般国際法にあるとの記述を変更したことに伴う国際法の解釈の変更の有無
  - イ 国際慣習法の成立要件は一般慣行と法的確信であるとする考えに対する河野外務大臣の見解
  - ウ 在外米軍に対する接受国の法令適用に関する米国政府の公式見解の有無
- (3) 普天間飛行場の辺野古移設を含む米軍再編の費用を日本側が負担する根拠
- (4) 日米地位協定第 24 条第 1 項において米軍の維持に伴う経費は日本側の分担経費を除いて米側が負担するとされているにもかかわらず思いやり予算が増加している理由
- (5) 辺野古埋立海域の軟弱地盤問題
  - ア 衆議院予算委員会には係争中のため出せないとした同地盤に関する調査報告書を参議院予算委員会には提出した理由

- イ 韓国における最深 70 メートルの海底地盤改良工事の施工業者名及び事業名
- ウ 政府が当該施工業者に当該事業の情報提供を求めた事実の有無
- (6) 赤坂プレス・センターへのオスプレイの飛来
  - ア 同米軍施設へのオスプレイ飛来の有無
  - イ 他の米軍施設へのオスプレイ飛来実績の調査と同様に赤坂プレス・センターへの飛来についても調査する必要性
- (7) 日米で均衡を欠いた日米合同委員会の出席者のレベルを変更するとともに同委員会の議事録を公開する必要性
- (8) FMS 調達において毎年度数百億単位の未精算額及び未納入額が発生する理由
- (9) 辺野古沿岸域の海上警備業務において過大に支出された警備員の労務費を国庫に返納する必要性

#### 赤嶺政賢君（共産）

- (1) 新設された陸上自衛隊宮古島駐屯地
  - ア 宮古島駐屯地に配備されている中距離多目的誘導弾及び迫撃砲は宮古島市保良（ぼら）地区の弾薬庫が整備され次第当該弾薬庫に移されるとの認識の可否
  - イ 保良地区での住民説明会における迫撃砲弾は配備しない旨の説明と岩屋防衛大臣の同地区に弾薬を置くとの答弁の整合性
  - ウ 同駐屯地の弾薬庫を撤去する予定の有無及び撤去する必要性
  - エ 同駐屯地の弾薬庫を保管庫として説明した事実の有無
- (2) 米軍普天間飛行場移設問題
  - ア 軟弱地盤の改良工事に伴い生じる土砂の量
    - a 現在検討されているサンドドレーン工法によって生じる地盤沈下に伴う埋立材の増加量
    - b 当該増加量が地盤改良工事全体で見積もられている 650 万立方メートルに含まれているか否か
    - c 埋立承認願書に添付された環境保全図書にある滑走路等の液状化対策として実施される地盤改良工事に必要な土砂の量
    - d 当該土砂の量が地盤改良工事全体で見積もられている 650 万立方メートルに含まれているか否か
    - e 一連の地盤改良工事に必要な土砂の総量が防衛省の試算する 650 万立方メートルを超過する可能性についての岩屋防衛大臣の認識
  - イ 地盤改良工事に用いる土砂の調達先
  - ウ 海砂の採取により沖縄県内から調達する可能性
  - エ 外来生物混入の防止対策
    - a 岩ズリの高熱処理の実施の見通し
    - b 地盤改良工事に用いる沖縄県外の土砂の調達先における外来生物の生息状況の調査及び混入対策の検討の有無
  - オ 地盤改良工事に用いる土砂の調達見通しが立たない中で政府の想定どおりに工事が進まない可能性

#### 串田誠一君（維新）

##### 米軍普天間飛行場移設問題

- ア 普天間飛行場が世界一危険であると表現される理由についての防衛省の認識
- イ 辺野古への移設によって危険性が除去されるとする根拠
- ウ 移設先として辺野古が選定された過程
- エ 普天間飛行場の危険性を踏まえた米側からの移設の要請の有無

オ 普天間飛行場の移設が抑止力に与える影響

カ 国際情勢が変化しているにもかかわらず辺野古への移設が変更されない理由についての岩屋防衛大臣の見解

#### 重徳和彦君（社保）

沖縄の基地負担

ア 「沖縄は基地で食べている」といった見方を否定する必要性についての岩屋防衛大臣の見解

イ 他の都道府県と比較した沖縄振興予算の制度に関する内閣府の説明

ウ 辺野古代執行訴訟第1回口頭弁論（平成27年12月2日）において当時の翁長沖縄県知事が「沖縄が米軍に自ら土地を提供したことは一度もありません」と述べたことに対する岩屋防衛大臣の認識

エ 沖縄の基地負担軽減のために米軍基地の設置根拠となる法制度を整備する必要性に対する岩屋防衛大臣の見解

#### 照屋寛徳君（社民）

(1) 沖縄県今帰仁村沖合でのジュゴンの死骸発見（平成31年3月18日）

ア 辺野古沖の公用水面埋立承認の際に付された留意事項に海生生物の保護対策の実施に万全を期すこと並びにこれらの実施状況について県及び関係市町村に報告することが明記されていることに基づく死骸発見に対する説明責任についての防衛省の認識及び死骸で発見されたジュゴンの死因究明と行方不明となっている2頭のジュゴンの生存確認調査の完了まで辺野古沖の工事を中止する必要性

イ ジュゴンの死と辺野古沖の埋立工事との因果関係を直ちに調査する必要性

ウ 種の保存法に基づきジュゴンを国内希少野生動植物種に指定することに環境省が消極的な理由

(2) 沖縄県が求めている辺野古沿岸部に投入された埋立土砂の品質調査結果の提示並びに沖縄県による立入調査及びサンプル採取に沖縄防衛局が応じないのは環境監視等委員会による助言によるものか防衛省独自の判断か明らかにする必要性

(3) 米軍嘉手納飛行場に外来機専用の駐機場が新たに建設されているとの報道の真否

#### 長島昭久君（未来）

米軍普天間飛行場移設問題

ア 抑止力の意味内容に関する河野外務大臣の理解

イ 米軍普天間飛行場の有する機能と辺野古移設後に構築される機能の内容及び差異

ウ 辺野古への移設により同飛行場が全面的に返還されるとの認識の当否

エ 朝鮮半島情勢が不透明な中において朝鮮国連軍の指定施設の1つである同飛行場が移設により返還されることになることについての河野外務大臣の見解

#### 2 防衛省設置法等の一部を改正する法律案（内閣提出第14号）

・岩屋防衛大臣から提案理由の説明を聴取しました。